

# 協働の森パートナーズ協定

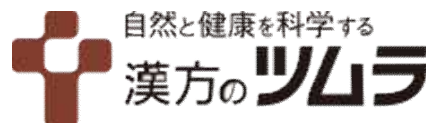
## ツムラ出前授業

人が森を助ける。  
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：株式会社ツムラ様  
開催場所：越知町立越知中学校  
開催日：令和4年9月26日（月）  
参加者数：31名

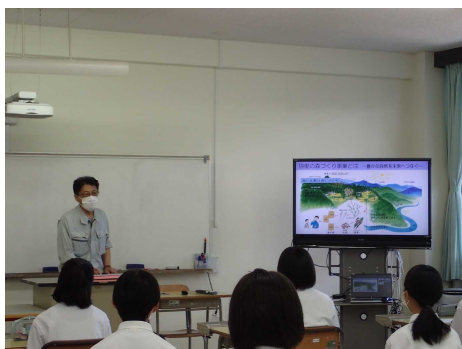


（(株)ツムラ4名、農事組合法人ヒューマンライフ土佐1名、越知中学校22名、越知町3名、高知県1名）

株式会社ツムラ様との協定は平成20年6月9日に締結し、以来5期約14年にわたりご協力いただいています。

今回の交流活動は「ツムラと越知町」をテーマに、総合学習の一環として越知中学校1年生を対象に出前授業が開催されました。

まずは、先生からZOOMを使った授業の流れの説明がありました。越知中学校とツムラ本社、漢方記念館をつないでの講演です。最初の講演は、農事組合法人ヒューマンライフ土佐 代表理事の高橋氏が越知町とツムラの関わりについてお話し下さいました。収穫された生薬の加工までがヒューマンライフ土佐で行われ、その生薬を使ってツムラが漢方薬を作ります。栽培している生薬は約10種類にも及ぶそうです。



ヒューマンライフ土佐 高橋代表理事の講演がトップバッターでした。

次に、ツムラ本社 福井氏からは、ツムラの産業である生薬の生産について、横倉山や仁淀川を有する多種多様な植物の宝庫である越知町との関係についてお話しいただきました。このような恵まれた環境のおかげで、良質な生薬を栽培することができるということでした。



ZOOMを使って、東京のツムラ本社から講演していただきました。



茨城県にある漢方記念館 シゲノ氏からは、漢方記念館は工場の敷地内にあること、工場での生産により20年間で3倍の生産数量になったことなどをお話しいただきました。漢方薬とは何か、生薬とは何か、漢方は医薬品か、というクイズも出題されました。



最後は学級活動として、質疑応答の時間がありました。  
「1日にどのくらいの漢方薬をつくられているか？」  
「子どもが飲んでも問題ないのか？」  
「飲んですぐに効くのか？」  
「漢方薬はつくるのにどれくらいの時間がかかるのか？」  
「味はどんなものがあるのか？」  
「動物の骨を使うときは、どこの部位の骨を使うのか？」  
といった、様々な質問がありました。



学級活動の様子

今回の交流活動をきっかけに、植物やみなさんのふるさとである越知町の自然環境に好奇心を持って接してもらえたら嬉しいです！